

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2003-093230
起案日	平成20年 4月15日
特許庁審査官	長谷部 智寿 3339 4R00
特許出願人代理人	筒井 大和 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1-7、9-12
- ・理由 1
- ・引用文献 1、2
- ・備考

引用文献 1 : 特に、第1頁左下欄第4行-第2頁右下欄第5行、第5図参照。

引用文献 2 : 特に、第1頁左下欄第5行-第3頁左上欄第7行参照。

引用文献 1 に記載された発明において、引用文献 2 に記載された発明のジュメット線を採用することは、当業者が適宜なし得たことである。

なお、PB0-B203系ガラスは、軟化点は、560℃以下であるものと認められる。(要すれば、特開2001-035393号公報、特開平05-105480号公報、特開昭63-025247号公報等参照。)

- ・請求項 1-7、9-12、15、16

- ・理由 1
- ・引用文献 1 – 4
- ・備考

引用文献 3 : 特に、第 2 頁左上欄第 1 – 4 行 – 同頁右下欄第 5 行参照。

引用文献 4 : 特に、第 1 頁左上欄第 7 行 – 同頁右下欄第 3 行参照。

引用文献 1 に記載された発明において、ショットキーバリアダイオード素子を形成するに当たり、エピタキシャル層と、タンゲステン電極を備えることは、引用文献 3、4 の記載に基づき、当業者が容易になし得たことと認められる。

- ・請求項 1 3、1 4
- ・理由 1
- ・引用文献 1、2 (5 – 8)
- ・備考

ジュメット電極の最外表面に、酸化銅層を形成することは、周知慣用技術と認められる。（要すれば、引用文献 5 : 特に、第 2 頁左下欄第 2 行 – 同頁右下欄 4 行、引用文献 6 : 特に、第 1 頁右下欄第 12 – 15 行、引用文献 7 : 特に、第 1 頁右下欄第 13 – 16 行、引用文献 8 : 特に、段落【0033】参照。）

なお、請求項 1 4 に係る発明の酸化銅の厚さについての数値限定には、本願発明の詳細な説明を参照しても、臨界的意義を見いだすことができない。

- ・請求項 8
- ・理由 1
- ・引用文献 1、2、8
- ・備考

引用文献 8 : 特に、段落【0029】 – 【0033】参照。

銅を主成分とする層の半径方向の厚みを、バンプ電極の高さ方向の厚みよりも厚くすることは、引用文献 8 の記載に接した当業者ならば、容易に想到し得たことと認められる。

- ・請求項 1 – 1 6
- ・理由 1
- ・引用文献 1 – 8
- ・備考

請求項 1 – 1 6 に係る発明は、引用文献 1 – 8 に記載された発明および周知技術に基づき、当業者が容易に発明をすることができたものと認められる。

引用文献等一覧

1. 特開昭56-126979号公報
2. 特開昭63-284716号公報
3. 特開平03-152974号公報
4. 特開昭58-082576号公報
5. 特開昭58-111348号公報
6. 特開昭55-083242号公報
7. 特開昭64-050453号公報
8. 特開平09-162331号公報

<補正等の示唆>

(1) 明細書を補正した場合は、補正により記載を変更した個所に下線を引くこと（特許法施行規則様式第13備考6）。

(2) 補正は、この出願の出願当初の明細書又は図面に記載した事項のほか、出願当初の明細書又は図面に記載した事項から自明な事項の範囲内で行わなければならぬ。補正の際には、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書等の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。（意見書の記載形式は、無効審判における訂正請求書の記載形式を参考にされたい。）

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C H 0 1 L 2 3 / 2 8 - 2 3 / 3 1
H 0 1 L 2 3 / 0 2 - 2 3 / 1 0
H 0 1 L 2 9 / 4 8
H 0 1 L 2 9 / 8 7 2
H 0 1 L 2 9 / 8 6 1
C 0 3 C 3 / 0 7 2

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第三部

金属加工・電子素材加工 審査官 長谷部 智寿

(HASEBE TOMOHI SA)

TEL. 03 (3581) 1101 内線 3469

整理番号: H03001481 発送番号: 220441 発送日: 平成20年 4月22日 4/E

FAX. 03 (3501) 0673